



目の前のことを一生懸命に

秋の風が少しずつ冷たくなってきましたね。気がついたら、西高生活 1 年目の折り返し地点になりました。ふと立ち止まって自分のことを考える時間が増えてきた人もいるかもしれません。高校生活にも慣れてきた今、こんなふうに思うことはありませんか？

「自分って、何が得意なんだろう」「将来、何を目標せばいいんだろう」「このままでいいのかな」

そんなふうに迷ったり、不安になったりするのは、決して悪いことではありません。むしろ、それは「ちゃんと自分の人生を考えている証拠」です。でも、未来のことを考えすぎて、今の自分を見失ってしまうのは、少しもったいない気がします。未来は、今の積み重ねの先にあります。だからこそ、私はみなさんに「目の前のことに一生懸命になってほしい」と思っています。たとえば、授業。「どうせテストのためだけ」と思うかもしれませんが、目の前の授業に真剣に向き合うことで、知識だけでなく、「集中力」や「粘り強さ」も身につきます。たとえば、部活動。勝てない日が続いたり、うまくいかないこともあるでしょう。でも、仲間と一緒に汗を流し、悔しさを分かち合う経験は、きっと一生の財産になります。たとえば、友達との何気ない会話。その中に、自分を支えてくれる言葉や自分を変えてくれる言葉、誰かを支えるチャンスがあるかもしれません。「今、目の前にあることに、どれだけ本気になれるか」

それが、未来の自分をつくる力になります。結果がすぐに出なくてもいい。うまくいなくてもいい。でも、「一生懸命だった」と胸を張って言える自分でいてほしい。この秋、ぜひ「今の自分にできること」を、丁寧に、真剣に取り組んでみてください。その姿勢が、きっとあなたを強く、優しくしてくれます。応援しています。

1 年次主任 渡邊 晃



～ 11 月行事予定 ～ ～ 第 3 回定期試験は 17 日から！計画的な学習を心掛けよう！～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	土	B	総合学力テスト(1,2)	16	日		
2	日		同窓会記念行事	17	月	試験	第3回定期試験
3	月		文化の日	18	火	試験	第3回定期試験
4	火	A	履修本登録提出〆切	19	水	試験	第3回定期試験
5	水	A		20	木		県民の日
6	木	A	県芸術文化祭パレード・グランドステージ	21	金	試験	第3回定期試験 がん教育講演会
7	金	A	校外清掃	22	土		
8	土		土曜課外(小論文講座①)	23	日		勤労感謝の日
9	日			24	月		振り替え休日
10	月	B	定期試験準備期間(今週は放課後学習可能)	25	火		家庭学習日(成績処理日)
11	火	B		26	水	A	
12	水	B		27	木	A	
13	木	B		28	金	A	総探講演会(1・2)
14	金	B		29	土		土曜課外(小論文講座②)
15	土	B		30	日		

保護者の皆様へ

規則正しい生活 11 月は前半にベネッセ模擬試験、後半に定期試験と大事な試験が続きます。西高生の中には勉強を頑張りすぎて、体調を崩してしまう生徒も見受けられます。心身が健康であってこそ、学習成果が上がってくるものと思われるので、生活リズムを安定させるようご家庭でもサポートしていただけますようお願いいたします。

2 年次の履修本登録 来年度の履修本登録締切が 11 月 4 日(火)となっております。10 月には国際バカロレア科目の体験授業や、担任との二者懇談などを行い、文系・理系のコース選択や国際バカロレアを含めた選択科目などおおよそ決定したかと思われます。今後は来年 1 月の三者懇談で最終確認を行い、履修内容が確定しますので、ご承知おきください。

山に登ると

I組担任 手塚 直彦

年に一度、山に登ります。季節は晩夏から初秋。早朝から登り始めます。

(美辞麗句) 山に登る前は、どんな景色に出会えるかなと胸が高鳴ります。ぐっすり睡眠をとって、「さあ、出発!」。登りはじめて20分もすれば、うっすら汗をかき、風が涼しく心地良いです。山の中に入っていくと日常から違う景色に、花が咲き乱れ心奪われ、運が良ければ、鹿や珍しい野鳥に出会うことができます。川のせせらぎに耳を傾け、大自然に抱かれ「自分もこの自然の一部なのだ。」と実感させられます。4時間程登ると山頂につきます。一面に広がる空と山と雲。他には何もありません。胸が一杯になります。

(本当の事) 子どもの頃から遠足の前日は眠れないので、だいたい寝不足で少しフラフラしながら登ります。初めこそ心地よいですが、40分もすると汗だくになり気持ち悪いです。水も限られているので大切に飲まなくてはなりません。花はきれいですが、虫もたくさんいます。ハエがたくさんいる場所は時として、人間のう○ちがあったりしてきびしいです。運が悪いと熊に出くわします。大自然に抱かれ、つくづく「自然とはつきあえない。自分は現代人なのだ。」と思い知らされます。山頂にたどり着くと確かに感動しますが、下るのが最も辛いです。膝にきます。半泣き状態で下山します。

私は愚かなので、「幸せ」にはすぐに慣れて忘れてしまいます。電気が使え、蛇口から水が出て温かい御飯が食べられる。それだけでも十分幸せなのに。

自然は傲慢になった自分を戒めてくれます。そして「日常に感謝して頑張らねば。」と思うのです。



積算 447615 km

I組副担任 廣瀬 庄一

わが愛車スカイライン（型式 HCR32）に乗り続けて、まもなく 33 年になろうとしています。教員人生のほぼ毎日と共にし、日々の通勤に乗り続けて、積算距離は 447615 km に達しました（令和 7 年 10 月 27 日現在）。

この 44 万 km という距離、地球 11 周を走ったことに相当します。そんな記録を打ち立てようと気負って乗ってきたつもりはなく、毎日の少しずつの積み重ねが、気が付いたらそうになっていたのです。何事も、続けること、あきらめず、地道にコツコツやっていくことが大事……、わが愛車が私に語りかけます。

光の速さが秒速 30 万 km であることに照らすと、光が 1 秒という一瞬で進む距離を、私は 30 年余りの年月をかけて走り続けてきた……。振り返ってみて、これまた感慨深いものを感じます。

こまめにメンテナンスを続けてきたが、最近、エンジンやボディにもあちこち傷みが増えてきたなあ。補修部品も入手困難になるし、ガソリンも高くなってきたし……。

わが愛車はガレージで休眠を送る日が増えました（最近ではほぼ軽トラで通勤しています）。

